

下水道展'26 東京

あす開幕／東京ビッグサイト

下水処理、管路資器材、維持管理、設計・測量など下水インフラに関する製品・技術が集う「下水道展'26東京」が、8月4日から7日までの4日間、東京ビッグサイトで開催される。主催は日本下水道協会。開場時間は10時（初日10時半）から17時（最終日16時）まで。入場無料。ウェブでの事前来場予約制。

国内最大規模417社・団体が出展

今年38回目を迎える最先端技術が集結するフェス「下水道展'26東京」。維持管理の省力化展をはじめ、上下水道の広域連携、AI活用、防災・減災、再生可能エネルギー導入といった多彩なセミナーや企画を実施する。

併催行事として「第63回下水道研究発表会」「下水道技術情報研修会（ブースツア）」も同時開催。前者は行政や研究機関、民間企業による最新の研究成果や業務事例を紹介。後者は業界の関心の高い課題ごとに複数の出展ブースをグループで案内する。観覧後には参加者と出展者間でセッションを行い、官民の交流促進を図る。

最新技術など一堂に

最大の見どころは新設する「IT・DXゾーン」と「No Entry管路診断ゾーン」だ。IT・DXゾーンではAI（人工知能）、ソフトウェア、デジタルツインなどインフラDX（デジタル変革）を支える最新ソリューションを紹介。識者が登壇し、AIやNo Entry管路データ活用によるイン診断ゾーンでは、ドローフラ管理の高度化や運用やロボット、画像効率化について議論解析技術を活用し、安する。このほか、自治全かつ効率的に下水道体技術職の魅力を発信管路を点検・診断する「公務員キャリア

会期中には「インフラDXが拓く下水道の未来」をテーマにスペシャルセミナーも開催する。燈（あかり）、インフラニア・ホールディングス（HD）、日本IBMの有

荏原実業

荏原実業は「防災・減災・停電に備える、下水道の新しい未来」をテーマに展示する。展示の目玉は、樋門の電動化・遠隔化を実現する蓄電池駆動式樋門管理システム「Eba-Gates（エバゲイツ）」。

豪雨などによる気象警報発表時や異常発生時でも、操作員が危険な現場へ赴くことなく対応でき、安全で迅速な水害対策に貢献する。

またクラウド型遠隔監視制御システム「E-Qias Cloud」、停電時マンホールポンプ起動支援システム「Eba-Pras」など、施設の日常的な維持管理と防災・減災の両面から下水道事業を支援するソリューションを提案する。

水や空気は、
未来へのバトンだと思う。



 **Ebatens**

荏原実業

〒104-8174 東京都中央区銀座 7-14-1

TEL: 03-5565-2881 FAX: 03-5565-2894 <https://www.ejk.co.jp/>